



GABRIELLA

許しのブラックホール：新しい時代の罠

The Black Hole of Forgiveness: The New Age Trap

23 August 2014 - 5:37am

キャスリン・E・メイ経由

Channeler: Kathryn E. May

By Gabriella Brightlight and Kathryn E. May, PsyD

許しのブラックホールについて話をすることにしましょう。人々が実際に現実から目を逸らしている時に、人々は何度も自分は許しを表現していると考えます。愛に溢れたひとりの霊的存在になるためには、たとえその人が皆さんを虐待し、皆さんを軽視し、皆さんを欺いたとしても、皆さんあらゆる人を許す必要があるという、ひとつの偽りの新しい時代の発想が今まで奨励されてきました。人々は怒りでかなり不愉快になるため、その情緒を完全に跳び越えて、直接閉鎖まで進んで適応することが、ひとつの宗教的な実践になってきました。これが“許し”と呼ばれます。

また類似したひとつの新しい時代の発想があり、それは、“わたし達は断定的な判断を用いることはできない。何故なら、断定的な判断は他の人々を非難しているからだ。そしてひとりの霊的な人間になるためには、あなたはあらゆる人を愛さなければならない”、というものになります。実際に、今起り続けていることを精査し、評価し、査定することは、皆さんの知性の上手な使い方であり、不親切な行為ではありません。秘密結社は、正当な理由で、断定的な判断を利用することは人に手厳しくなることと全く一致していることを信じさせるようにわたし達を訓練しようとして、懸命に努力しました。人類を騙して盲目を受け入れる方向に向かわせることは、意図的で頭脳明晰なひとつの教えでした。もしもわたし達が明晰な判断力で事実通り人々に目を向けていたとすれば、わたし達は既に人々の幻影を通してそれを理解して、人々はわたし達と比較して無力になっていたでしょう。

皆さんが何かを良く観察する時、皆さんは直観の赤い旗が反応することを許し、それが瞬間的に皆さんを真実に導いて、危険から引き離します。しかしこれは、皆さんが断定的な判断を用いなければならないことを意味するかもしれません。その代わりに、皆さんは、他の人々を気分良く感じさせるために、特にその個人が皆さんに不当な態度を示している時に、皆さんが感じるものを気付かないことを期待されます。皆さんは、たとえここで再び人々が皆さんを虐待し、皆さんを軽視し、皆さんを欺いていたとしても、その人々の現状の通りに、すべての人々を受け入れることを期待されます。

わたし達がまさに今まで説明してきた状況はかなり回りくどいため（許し、否定、忘れ安さ、否定、怒り、否定、そして盲目）、それは皆さんが絶えず核心に触れることを妨げるかか、既に実際に起った物事の真実に理解することを妨げます。皆さんの断定的な判断と直観が皆さんの人生をさらに高いひとつの水準に運ぶその機会を皆さんに許していた時に、この態度は、皆さんを永遠に過去の間違いを繰り返す危険に曝します。そのため皆さんは、現実から目を逸らして行き詰ります。何故なら、おそらく皆さんの現状と皆さんが考える物事を表現することは、他の人々を許すことに悪影響を及ぼすからです。この状況が、皆さんの身近にいる権利と特権を認められるべきではない人々に向けた、終りのない忍耐を助長します。

この状況が、わたし達をブラックホールに通じる3番目の嘘に運びます。その真実を伝えることによって、皆さんは他の人々を傷付け、“事を荒立てて”います。これは社会的に受け入れられるものではなく、（皆さんが既に背後に置き去りにした人々そのものに起因する）拒否と自暴自棄をもたらすことになるでしょう。この回りくどい情緒の監禁を維持する間、皆さんは事実通り皆さんの感覚を率直に話すか、表現することはできません。皆さんは愛を放射することを期待されるか、あるいは皆さんは、狭量で、利己的で、過度に神経質として理解される危険を冒します。

皆さんの顔に大きな笑顔を張り付けて、すべてがまさに素晴らしい振りをするために、皆さんが既にすべての恨み、激怒、怖れを皆さんの胃袋、腸、こころと精神に置いてしまっている時に、皆さんはどのようにして愛を放射することができますか？これは、愛、許し、忍耐、あるいは霊的な上昇ではありません。それは否定です。そのすべては、皆さんが自由になることを妨げるために考案され、皆さんの振動を高めて皆さんが皆さんの本来の姿である輝かしい光の活動家になることを妨げます。皆さんは既に、鉄の球と鎖を身に着けることをまさに承認していて、その状況は、今後皆さんが皆さん自身の次元上昇へと高まることを妨げることになるでしょう。

従って、否定は実際に、皆さんはすべての人々、出来事、そして皆さんが嫌いで皆さんに恥、怒り、苦痛、無価値さを感じさせる個人的な態度を“忘れるべき物事”と名付けられた小さな箱に置かなければならないことを意味します。皆さんはこれを皆さん自身の秘密の片隅の中に置き、その一方で皆さんは、“これを解決”してきたことを自分の手柄にしています。これを行うことによって、皆さんは秘密結社の原理を採用しています。“それはこれほど昔に起ったことであり、それはもはや真実ではなく、その問題を持ち出さないように”。これを行うことによって、皆さんは皆さんの理想的な人生を明らかにすることはできません。何故なら、皆さんの理想の人生の見通しは、皆さん自身の否定と伴に死を迎えるからです。

もしも皆さんが現実から目を逸らすやり方をしている時、皆さんは皆さん自身を許すことができず、また皆さんは他の人々を許すこともできません。この矛盾を解消する方法は？まずわたし達は、許しには2つの具体的な形があることを理解することが必要になります。

まず、許しの真実と承認の形があり、それは、存在してその交りに気付いている2人またはそれ以上の人々の間で起ります。それは、責任、誠実な後悔とところからの謝罪の承認が必要になります。“わたしは今後決して再びあなたにこれをしないことを、わたしは約束する”、そして彼らも絶対にそれを行わないことです。ただその時だけ、傷付いた者が事実通り許し、彼らの品位と良い判断を傷付けることなく、その関係が続けることができます。（非難と権利の口調を運ぶ偽りの謝罪に警戒してください。）

その対立を解消するためには、以下の状況が存在することが必要になります。

既に傷付けられている者が彼らの感覚を認めて、他の人々に彼らの間違いを埋め合わせる機会を提供します。それは、信頼と善意というひとつの贈り物です。

別の人を傷付けてしまったその個人が責任を取り、誠実な後悔を表して、許しを求める時、それは本当の親密さと信頼が成長することができるひとつの環境を創り出します。この肥沃な土壌から、ひとつの強くところからの関係が発達することができます。

誠実な和解と許しは、開放性、透明性、相互の優しさ、そして先に進む前の意識的な同意が必要になります。もしも皆さんがまだこれを達成せず、止まることを決めているとすれば、皆さんは大惨事に役立つひとつの方策を創り出しています。もしも皆さんがまだ上のすべての要素を理解していないなら、皆さんは皆さんの自由と忠実に皆さん自身になる機会を断念しています。立ち去ることがより賢明になります。問題の解消を交換の対象にして皆さんの品位を傷付けることは、ただ恨みの痛みの循環を再び創り出すことがあるだけです。

2番目の許しの形は数々の感覚に関する単独で行うひとつの熟練であり、何らかの継続している人間関係からは懸け離れています。これは上記の和解と許しと混同してはならないものです。この場合には、加害者は後悔せず、協議することを嫌がるか、欠席します。この許しの形は、別の個人の悪い態度を支援することによって影の側面につけ込むためのひとつの言い訳として用いられるべきものではなく、あるいは皆さんがそのすべてで上回っていることをひとりで得意がるために用いられるべきものでもありません。

わたし達は、過去に起因する苦痛または損傷を内面で解消することは、穏やかな精神への道筋であることを理解します。これを達成することを目的にするなら、わたし達は、わたし達を加害者やわたし達が経験した闇に結び付けたままにする恨みまたは虐待に関するすべての感覚を、積極的に解き放つことが必要になります。そのわたし達自身の回復を確認することは、過去の傷にもかかわらず、復讐がわたし達に許すわたし達自身を解き放つてもう一度愛する選択をする状況よりも、さらに重要になります。

心的外傷をもたらす数々の出来事による壊滅的な被害を受けてしまった個人、あるいは愛のないひとつの人生は、彼らや彼らの神の確信と彼らの自尊心に対する彼らの影響力を失うことがあります。既に犠牲になってしまった人々は、自己非難と強い嫌悪というひとつの底なし沼に落ちることがあります。皆さんの確信を修復して、皆さん自身の価値を信じるためには、勇気、決断力、そして集中力が必要になります。

この許しの形が基本的に目的にしているものは、皆さん自身の回復と、現在の中と皆さん自身との愛の中で生きるという、その決意です。皆さんの過去の真実を否定しようとするよりも、むしろそれを受け入れることは、皆さんの自尊心と価値という感覚を修復することを可能にします。これが本当の達成です。皆さん自身を愛する方法を学ぶことは、許しに対する真の鍵です。それは、その暗い穴から脱出する方法であり、皆さんが味わうためにここに現れたその理想の人生を明らかにする道筋です。

こうした論点についてのより詳細な説明は、キャスリン・E・メイ心理学博士による“誰が光を必要とするか？”の第27章の“わたしはどのようにしてそれを克服することができるか？”と、第28章の“許しを学ぶこと”を確認してください。

<http://lightworkers.org/channeling/203725/black-hole-forgiveness-new-age-trap>